

弥生学区防災対策実態調査結果の報告

各家庭の防災対策の実態を把握し共有することが、地区の防災対策の基本となります。
そこで、各家庭での災害への備えと災害時の行動予定、生活再建について調査しました。

調査時期は 2019 年 9 月 1 日

対象者は、弥生学区コミュニティ防災訓練参加者です。

回答数 237 件

複数回答及び無記入があり、合計は 100 パーセントになりません

1 お住まいの方の人数

平均 3.1 人

1 人 8%、 2 人 36%、 3 人 20%、 4 人 20%、
5 人 8%、 6 人 6%、 7 人 2%、 (8 人 1 軒)

2 調査票に記入した方の年齢

平均 62 歳 0~34 歳 4%、 35~44 歳 11%、 45 歳~54 歳 15%、
55 歳~64 歳 12%、 65 歳~74 歳 35%、 75 歳~84 歳 21%、 85 歳~1%

3 最高齢の年齢

平均 68 歳 0~34 歳 3%、 35~44 歳 8%、 45 歳~54 歳 9%、
55 歳~64 歳 8%、 65 歳~74 歳 35%、 75 歳~84 歳 27%、 85 歳~10%

4 家族の年齢構成

65 歳以上のみ 36%	64 歳以下の家族も同居 56%
-----------------	---------------------

5 お住いの住宅の所有形態

賃貸 5%	持家 93%
----------	-----------

5 居住開始した時期

昭和 34 年以前 20%	昭和 35 年以降 80%
------------------	------------------

(伊勢湾台風以前)

(弥富での伊勢湾台風未経験)

★伊勢湾台風では、弥生学区は 3 か月程度水没し、広域避難をしていました

★伊勢湾台風後、約 0.8m 地盤沈下しています

6 住宅を建てた時期

昭和 56 年 5 月以前 36%	昭和 56 年 6 月 ～平成 12 年 5 月 28%	平成 12 年 6 月以降 25%
----------------------	------------------------------------	----------------------

★昭和 56 年以前の建物は大地震で倒壊する可能性が高いといわれています

★平成 12 年以前の建物は大地震で損傷する可能性が高いといわれています

★[検索](#)「住宅・建築物の耐震化のすすめ」→政府広報のHP



7 住宅の点検と耐震化

- 耐震対策を実施した 14%
- 耐震性があると思う 30%
- 耐震診断をした 7%
- 耐震性がない 17%
- わからない 33%

★水害や津波で自宅避難を予定されている住宅には、

高さが十分であることに加えて、十分な耐久性、耐震性が必要です

★耐久性が十分ある木造住宅でも 1m の津波で半数が倒壊、

2m の津波では倒壊の危険性が高いといわれています

★[検索](#)「木造住宅耐震診断等事業について」→弥富市のHP



8 家具類の転倒防止

固定済 み 11%	だいたい固定 38%	固定していない 53%
-----------------	---------------	----------------

★就寝中に倒れてきたタンスで大きな被害がでています

★倒れた家具で、脱出経路をふさがれるリスクがあります

★窓ガラスや食器類などが割れてケガをすることがあります

枕元にスリッパを常備しましょう

★[検索](#)「転倒防止対策」→弥富市のHPです



9 用意しているペットボトル (2L) の数

平均 7.2 本、 0 本 19%、 1～3 本 19%、 3.5～6 本 30%

6.5～12 本 22%、 13 本以上 11%

★一人 1 日に 3 リットルの水分が必要だといわれています。

★災害直後にコンビニに走ってもありません

10 用意してある非常食（ローリングストック含む）

平均 2.0 日分 0日 24% 1日分 19%、 2～3日分 45%、
3.5～7日分 10%、 7日分以上 1%

★高価な非常食でなくても、缶詰、ラーメンなどを食べながら

「計画的に家庭に在庫させる」ローリングストックが推奨されています

★**検索**「家庭用食料品備蓄ガイド」→農林水産省のHPです

★避難所にはほとんどありません 計画的に7日分を在庫しましょう

★こどもには、日頃食べなれた食品を用意しておくといわれています



11 携帯トイレ、カセットコンロなど備蓄品

準備してある 47%	準備していない 54%
---------------	----------------

12 非常時持ち出し品の準備

準備してある 49%	準備していない 50%
---------------	----------------

13 ポンプが止まると湛水することを知っていましたか

知っている 46%	知らなかった 51%
--------------	---------------

★**検索**「日光川流域排水調整ルール」→大雨による河川のはん濫に備えて
愛知県のHPです、

★大雨で日光川が氾濫しそうな時にポンプが停止されます



14 自宅が水害、津波で何メートル浸水するか、調べてありますか

確認済み 28%	調べていない わからない 69%
-------------	---------------------

★水深 30 cmでは屋外の移動は困難（不可能）といわれています

★**検索**「重ねるハザードマップ」

→国土交通省のHPで正確な高さが調べられます



15 水害時にどこに緊急避難する予定ですか

自宅や近所の安全な2階以上 52%	弥生小学校 32%	その他 21%
----------------------	--------------	------------

★水害や津波で自宅避難を予定されている住宅には、

高さが十分であることに加えて、十分な耐久性、耐震性が重要です

- ★**検索**「動く高潮・洪水ハザードマップ」→国土交通省のHP
 スマホでは動作しない場合がありますPCで検索してください



16 津波時にどこに緊急避難する予定ですか

自宅や近所の安全な2階以上 50%	弥生小学校 33%	その他 17%
----------------------	--------------	------------

- ★水害や津波で自宅避難を予定されている住宅には、
 高さが十分であることに加えて、十分な耐久性、耐震性が必要です
 ★津波の水深が30cm以上になると、流されるので避難はできなくなります

- ★**検索**「津波・高潮緊急時避難場所」→弥富市のHPです



17 避難を決断する情報は何かから得る予定ですか

弥富市・安全安心メール 44%	テレビ、ラジオ、スマホ、パソコン等 74%	知人、近所 8%
--------------------	--------------------------	-------------

- ★弥富市安全・防災メールは 必須です

- ★**検索**「弥富市安全・防災メール」→弥富市のHPです

- ★同居家族がいれば最低1人は受信できるように

- ★同居家族で登録できない場合は、別居の子ども（市外でもよい）が登録し、
 緊急時には、避難情報など重要なことを、電話で連絡してもらう

- ★それもできない場合は、仲の良い友人に頼んで、災害時に（電話）連絡をもらう

- ★登録時に「配信情報」選択するときに、小規模の地震、気象の注意報など、
 頻繁におきるが、重要でないものは外しておくこと



18 大規模災害になった場合に長期に避難する場所

弥生小学校 53%	自宅避難 26%	その他 20%
--------------	-------------	------------

- ★**検索**「市指定避難所」→弥富市のHPです



19 避難所への移動の困難

徒歩は困難 12%	徒歩で可能 80%	他 2%
--------------	--------------	---------

（記入欄）高齢者在宅のため、車いすで遠方大変

20 避難所での滞在の問題点

要支援者 13%	ペットがいる 21%	その他 15%	無回答 51%
----------	---------------	------------	------------

(記入欄) 赤ちゃん、こども、トイレ、プライバシー、密集ストレス、布団
医療薬品

★**検索**「避難所 ペット」 環境省のHPです



21 弥富市全域が水没した場合の水没区域以外の避難先

親族、知人宅に避難する 40%	行政が確保した避難先 44%	自宅 16%
--------------------	-------------------	-----------

★広域避難の、受け入れ先、交通手段の確保については検討が始まったばかり

★頼れる親族等と仲良くしておいて、渋滞が始まる前の早めの自主避難が良作

22 もし親族、知人宅に避難する場合、それはどこですか 市町村名を記入 (215軒)

名古屋市 13%、尾張 14%、三重県 8%、三河 3%、その他 6%

23 弥富市全域が水没した場合の生活再建の場所

できれば弥富市に戻りたい 51%	わからない 41%	戻らない と思う 5%
---------------------	--------------	-------------------

★どこで生活再建するにしても、地震・自然災害保険・共済の加入をお勧めします

24 生活再建のための地震・自然災害保険・共済の加入

地震保険・自然災害共済に加入 50%	一般の火災保険に加入 43%	未加入 10%
-----------------------	-------------------	------------

★地震の延焼による火災・津波・液状化による建物の傾き・水害など

自然災害は、通常の火災保険だけでは対応できません

★どんな古い建物でも、再度建築する価格の半額、用途は自由

★**検索**「保険・共済加入のすすめ」→内閣府防災情報のHPです



調査協力 弥富防災・ゼロの会 info@yatomi-bousai.info

弥富市防災情報共有サイト <http://yatomi-bousai.info/>



Facebook 弥富市防災情報共有サイト



集計・報告 弥生地区防災計画策定実行委員会 アンケート担当 佐藤仁志